

毛野・富田

● まちづくりの基本的な考え方

様々な人々が交流する 新たな活力を創造するまち



まちづくりの方針・プロジェクト等

- 新駅（あしかがフラワーパーク駅）周辺は、観光資源を活かすとともに、様々な産業の振興を図るため、地域複合拠点としてまちづくりを推進します。
- 富田駅周辺は、暮らしやすい生活環境を創出するため、地域生活拠点としてまちづくりを推進します。
- 富田地区において、JR両毛線の南北を結ぶ、新たな都市計画道路網の検討を進めます。
- あしかがフラワーパーク・栗田美術館などの観光資源を有機的につなぎ合わせ、観光レクリエーション拠点の形成を図ります。
- 既存産業団地において、機能の維持・保全を図ります。
- 豊かな自然環境を活かした、歩いて楽しいみちづくりを推進します。
- 老朽化した公共施設の適正な整備を進めます。
- 尾名川の河川改修による、災害に強い環境づくりを進めます。

土地利用の方針

① 都市的土地利用ゾーン

住環境保全・形成エリア

- 良好な居住環境を保全し、安全安心に暮らせるまちづくりを推進します。
- 富田駅周辺は、暮らしやすい拠点づくりに努め、地域コミュニティの維持を図ります。

工業エリア

- 既存産業団地は、機能の維持・保全を図るとともに、利便性の向上に努めます。

土地利用の転換

- 新駅（あしかがフラワーパーク駅）周辺をはじめとした主要幹線道路及び補助幹線道路沿線は、観光振興や産業振興を目的とした土地利用の転換を図り、新たなまちづくりを推進します。
- あしかがフラワーパーク、栗田美術館などは、国内外の人々が交流する観光レクリエーション拠点として、周辺環境の整備を推進します。

② 田園的土地利用ゾーン

共生・農業エリア

- 自然景観としての山なみや田園など、緑地資源との共生による、ゆとりある居住環境の形成を図ります。
- 地域コミュニティを維持するため、居住を支える土地利用を展開し、地区の活性化を図ります。

都市施設の方針

① 幹線道路等

- JR両毛線により分断された南北地域を結ぶ幹線道路のあり方を検討し、道路網の強化を図ります。

② 歩行者・自転車ネットワーク

- 通学路と身近な歩行者が安全安心に利用できる歩道の整備を進めます。
- 豊かな自然環境を有するレクリエーション拠点内のハイキングコースの環境整備を進め、歩いて楽しいみちづくりを推進します。

③ 公共交通

- 駅前広場などの整備により、交通結節点としての機能強化を図ります。
- 新駅（あしかがフラワーパーク駅）を活用し、JR両毛線の利用を促進します。
- あしかがフラワーパーク・栗田美術館などの観光資源と、市内の観光資源との連携強化を図るため、公共交通網の構築に努めます。
- 生活の利便性を向上させるため、公共交通の充実を図ります。

④ 公共施設

- 足利市公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化した水処理センターの適正な整備を進めます。

● 将来の街の姿のイメージ

【観光レクリエーション拠点】
周辺の自然環境などを活かした
観光レクリエーション拠点の形成

【地域生活拠点】
地域コミュニティの維持

【地域複合拠点】
新駅(あしかがフラワーパーク駅)
周辺のまちづくり

【地域生活拠点】
地域コミュニティの維持



公共施設マネジメントの推進
(水処理センター)

(主)足利県楽行田線

【観光レクリエーション拠点】
あしかがフラワーパーク・
栗田美術館などの活用

【産業振興拠点】
既存産業団地の維持・保全

0 500 1000 2000m



都市機能集積エリア	主要な行政施設・学校	幹線道路	広域拠点
商業機能集積エリア	公民館	幹線道路(計画)	地域複合拠点
地域商業エリア	病院	補助幹線道路	地域生活拠点
住環境保全・形成エリア	その他の公共公益施設	補助幹線道路(計画)	産業振興拠点
住・工共存エリア	主要な歴史・文化遺産・資源	その他の道路	観光レクリエーション拠点
工業エリア	主要な公園・緑地	その他の道路(計画)	歴史的景観形成拠点
共生・農業エリア(集落地を含む)	ゴルフ場	歩行者系道路	
保全エリア		鉄道	

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7

地域別構想